

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

本計画は、上位計画である「第6次竹原市総合計画」が設定した将来都市像「元気と笑顔が織りなす 暮らし誇らし、竹原市。」の実現に向け、地域福祉分野における施策を推進していくことにより、総合計画の掲げる「将来像」や「目標像」の具現化を図るものです。

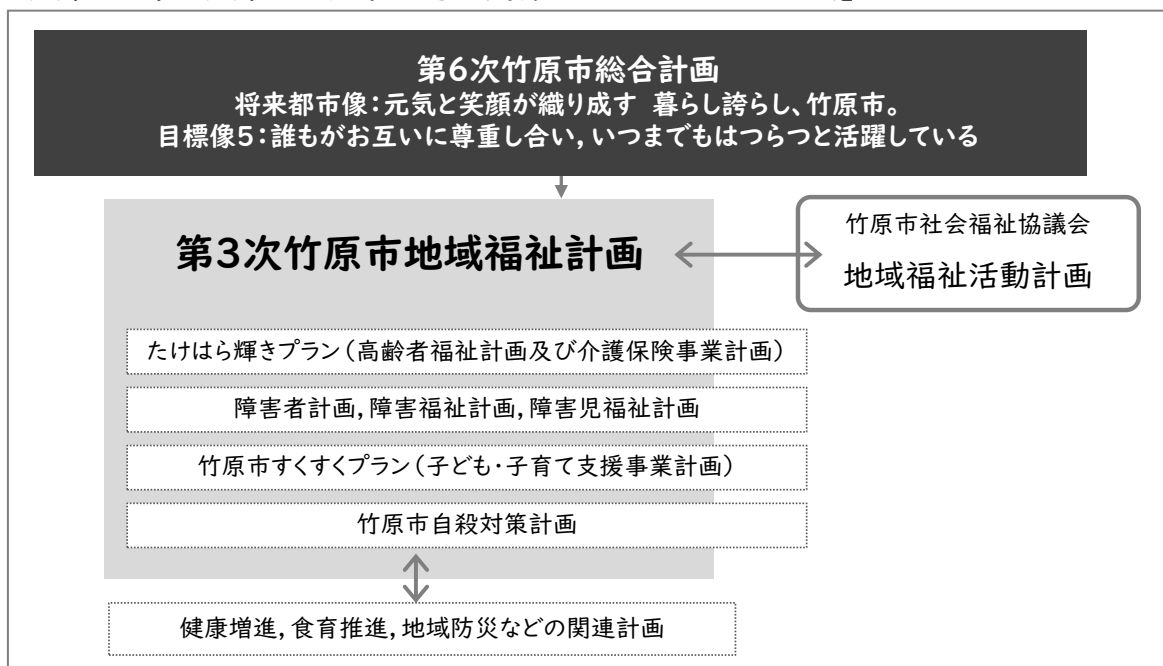
そして、本計画においては、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会の実現」が目指すべきところとなります。

また、平成27(2015)年に国連サミットで採択された持続可能な開発目標(SDGs)^{※1}では、「地球上の誰一人として取り残さない」ことを誓っています。「誰一人として取り残さない」すべての人が安全で安心して暮らせる社会をつくることは地域福祉と共通の目標であるとともに、国のみでなく、地方自治体においてもSDGsの達成に向けた積極的な取組が求められていることとなります。

これらを踏まえ、本計画は、第1次・第2次計画における取組を継承しつつ、ステップアップを目指すものとします。

加えて、新型コロナウイルス感染拡大による孤独・孤立の問題が深刻化、顕在化している中で、「孤独・孤立対策の重点計画」を踏まえ、新たに「誰一人孤立させない」を合言葉として、「地域まるごとネットワーク」を構築していくための取組を推進し、地域共生社会の実現を目指していくため、「やっぱりええね たけはら ～誰一人孤立させない 地域共生社会の実現～」を基本理念として掲げます。

【第2次計画と第3次計画の基本理念の関係についてのイメージ図】



※1 平成13(2001)年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、平成27(2015)年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、令和12(2030)年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことをいいます。

2 基本理念を実現させるための視点と方向性

基本理念を実現させるための視点

基本理念を実現させるため本計画においては、次の3つの視点を大切にします。

視点1. 住民の活動を推進する視点

様々な立場の住民が、地域福祉の推進の主役として地域の活動に参加できるように、その機会を確保し活動を推進します。

視点2. 住民と専門職、多機関・多職種との協働の視点

地域住民のニーズに気づき、地域の取り組みと専門職や多機関との取り組みを協働させながら、また、官民が協働して住民の取り組みに寄り添い支援することを目指します。

視点3. 包括的な視点

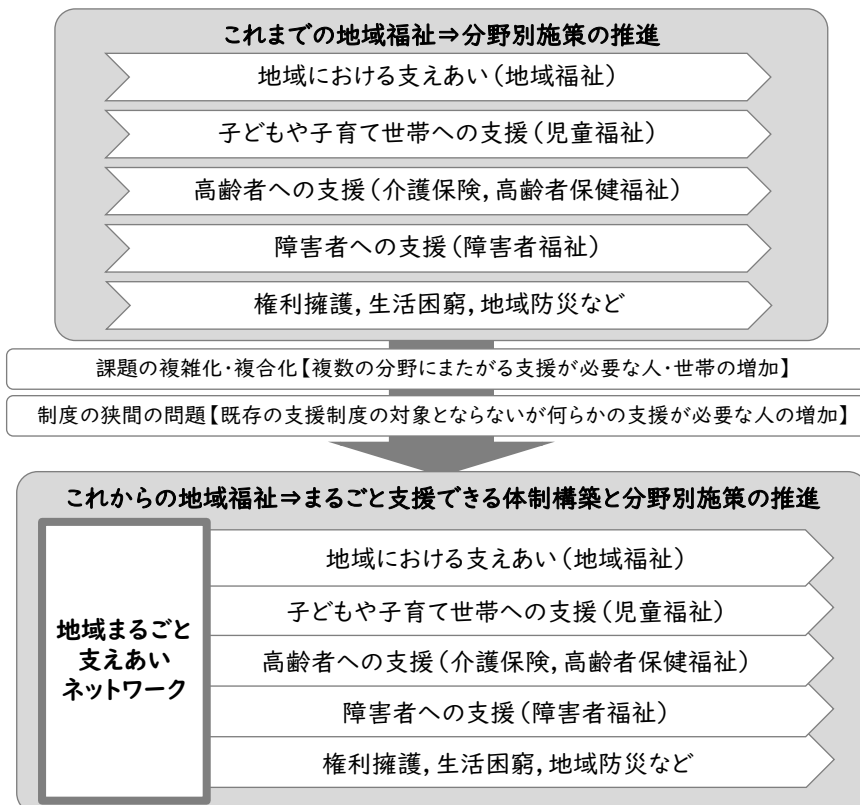
地域福祉を推進するため、重層的な圏域を設定するとともに、多様な資源を活用した包括的な相談支援や包括的な地域づくりを推進します。

基本理念を実現させるための方向性

これまでの地域福祉は分野別の施策を推進することにより、各種支援の充実を図ってきました。しかし、複数の分野にまたがる支援が必要な人や既存の支援制度の対象とはならないまでも、何らかの支援が必要な人が増加するなど、各分野別の支援のみでは課題への対応が難しくなっています。

このため、本計画においては、「地域まるごと支えあいネットワークの構築」による、各分野をつなげるネットワークを土台とした総合的な支援のもと、各施策を推進していきます。

【地域まるごと支えあいネットワークの構築による、これからの地域福祉のイメージ】



3 計画の目標

本計画は、基本理念を実現するための目標として、3つの基本目標と重点プロジェクトを定め、取組を進めていきます。

基本目標1. みんなで支えあう地域づくり

支えあい・助けあいの気持ちは様々な場所・場面で発揮されるものですが、近所や自治会など身近なところにおける支えあい・助けあいが基本となります。これら地域の支えあい・助けあいは、日常の困りごと解決だけでなく災害時にも大きな力を発揮します。そのため、みんなで支えあう地域づくりを目標として取組を進めます。

基本目標2. 地域福祉を支える人づくり

地域福祉においては、困ったときは支えあい・助けあう気持ちを持つこと、そして、自分に出来ることをやってみる一人ひとりの行動が基盤となります。そのため、地域福祉を支える人づくりを目標として、意識醸成や一人ひとりの行動を支える後押しを行っていきます。

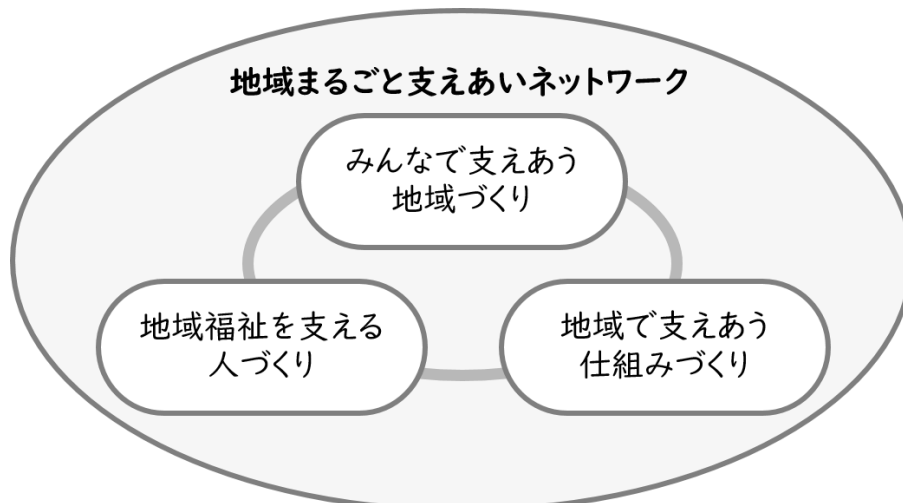
基本目標3. 地域で支えあう仕組みづくり

基本目標1・2で地域づくりと人づくりを進めていくこととしていますが、地域で支えあうためには、竹原市のどこに住んでいても日々の生活を安心して送ることができるようにする必要があります。そのため、暮らしの安心・安全につながる仕組みづくりを進めていきます。

重点プロジェクト 地域まるごと支えあいネットワークの構築

3つの基本目標は、それぞれが深く関係し補完しあうものであり、それぞれの取組も単独で成立するものではありません。また、基本理念を実現させるためには、地域福祉に関わる全ての人・団体・事業者・機関などがつながり、施策や分野を超えて支えあうことが出来る体制が必要です。そのため、各基本目標における施策を推進するとともに、基本目標をつなぐプロジェクトとして、「地域まるごと支えあいネットワークの構築」を重点的に進めていきます。

【基本目標と重点プロジェクトの関係性のイメージ図】



4 計画の施策体系

本計画においては、これまでに記載した基本理念、視点・方向性及び目標を踏まえて、以下の施策体系により、計画を推進していきます。

